安田そうへい 志通信（こころざし）

16

36 歳 人づくりの島を目指して

皆様、明けましておめでとうございます。昨年10月の市議選において、多くの皆様からお力を頂き、関門を突破することができました。皆様への感謝とご恩を胸に刻み、これからも地域に貢献できる人物となれるよう精進してまいります。

改選後私は、保守系の議員で構成する「自民新風会」という会派に参画しました。これまで無所属で一人で活動していた立場から、7名を擁する最大会派の中で先輩たちにご指導を頂きながら汗をかくようになり、市民の皆様からの要望をより良く実現させるために必要な仲間を得たという思いをもって、さらに邁進していく所存です。

市民の皆様と政治・行政とのパイプ役としての活動に磨きをかけるとともに、奄美市の将来像をしっかりと考え、提言・提案する活動にも力を入れて参ります。「市民に寄り添う政治」実現のためにも、より一層のご指導をお願いいたします。

安田そうへい

今号は、奄美市議会議員
２期目の志通信第１号となります。

そうへいの議会トピックス

直近の議会での決定事項や進捗状況についてお知らせします

1 平成 27 年第 4 回定例会（12 月定例会）における主な議案について

●27 年度一般会計補正予算第 1 号（6 億 3463 万円の増額）　⇒　結果、２７年度一般会計総額は 316 億 9725 万円。その主な内容は、

①ミカンコミバエ被害補償費 1 億 5011 万円

②ミカンコミバエ防除対策業務費 1061 万円

③末広・港土地区画整理事業建物等移転補償費 1 億 4741 万円

④生活保護費過年度分国庫支出金超過受け入れ返還金 1 億 2751 万円

⑤障がい者福祉介護給付等事業費 8004 万円：利用者増加に伴う

⑥笠利・住用観光施設整備費 4400 万円：あやまる岬公園の管理棟など

⑦奄美大島観光物産協会負担金 1930 万円：奄美大島ＤＭＯ（着地型観光プラットフォーム組織）構築などのため

⑧紬会館改修工事 950 万円：名瀬公民館代替施設として利用するため

●国民健康保険事業・介護保険事業など 5 特別会計の補正予算

●指定管理者の指定（三儀山運動公園・太陽が丘運動公園・タラソ奄美の竜宮・屋仁川駐車場など 10 施設）

●マイナンバー制度導入に伴う条例、農業委員会の組織改革に伴う条例、新たに生じた土地の確認（旧港埋め立てによる）、朝戸の土地取得（給食センター建設予定地）など 10 件

●小規模企業振興基本法に基づいた「小規模企業振興条例」の早期制定を求める陳情 ⇒ 採択

●「安全保障関連法」の廃止を求める陳情　⇒　不採択

2 議会構成・人事が変わりました

●議長に竹山耕平氏、副議長に師玉敏代氏が選任されました。

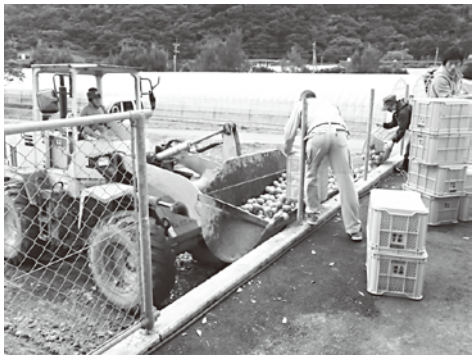
●会派は、自民新風会７名、自由民主党６名、公明党４名、日本共産党２名、社会民主党１名、無所属４名となりました。

●期数では、１期４名、２期６名、３期以上 14 名となりました。

●安田は総務企画委員会と議会運営委員会に所属いたしております。

3 議会報告会について

２月５日（金）夜、笠利・名瀬・住用同時開催で議会報告会が行われます。詳細は追って市議会から発信がありますので、お待ちください。



名瀬朝戸選果場でのポンカン・タンカンの買い上げと廃棄処分の様子。農家の方々が大事に育てた果実を処分するのは、まさに断腸の思いでしょうが、私たちもこの悔しさを忘れてはなりません。

1. ミカンコミバエ問題

1

昨年11月初旬、降って湧いたように起きたこの問題。連日マスコミでも取り上げられていますが、発端は夏場の再侵入にあったのではとも思われます。その際に踏み行われた初動マニュアルの見直しも一つの大きな課題となっていますが、まずは早期の根絶・撲滅に向けて、農家の皆様や農業団体、国県市町村など関係機関が一丸となって緊急防除・移動規制・全量買い上げ・廃棄処分などの活動が行われております。

奄美市議会においても、この動きを緩めることなく早く解決に向かうよう、国県市に対するチェックと要望を行うとともに、補償による救済を受けられない流通・卸小売・加工業者などの意見・要望にしっかりと耳を傾け、パイプ役として行政に届けて、何らかの手当てが施されるよう動いているところです。

11月25日に開催された臨時議会において「重要病害虫ミカンコミバエ防除と支援策に向けての意見書」を全会一致で採択し、行政に提出しました。その主な内容は、

●防除に関して、生産者に情報を共有するとともに、まん延防止・早期根絶と再発防止に向けて必要な人員体制や予算確保など最大限必要な措置を講ずること。

●補償等に関して、生産者と十分な協議を図った上で適正な価格による全量買い上げを行うとともに、流通・卸小売・加工業者への相談体制強化と支援措置を講ずること。

そして、12月議会で「ミカンコミバエ問題に関する特別委員会」を設置し、この問題が終息するまで必要な調査や提言を続けていくこととなりました。私もこの特別委員会の委員に就任しましたので、これからもこの問題について積極的に活動して参ります。

2 地方創生の総合戦略がスタートします！

「地方創生」という言葉が世に出始めて、

ミカンコミバエの誘殺トラップで、オスを引き寄せ殺虫します。奄美市内への設置数は 35 から、今回の問題発生を機に 152 に増設され、今後は季節による飛び込みにも的確に対応できるようになればと考えます。

2. 地方創生の総合戦略

地方創生の『奄美市総合戦略』と、『奄美市総合計画』・奄振の『成長戦略ビジョン』。これらが有機的に結び付き、相乗効果を生み出して、奄美市のさらなる魅力や潜在力を発揮させていきたいです。

1年以上が経ちます。この3月までには全国全ての自治体で「総合戦略」が定められ、新年度からはそれに基づいた諸施策を向こう4年間かけて行っていきます。

地方創生の大きな目的は、人口減少対策です。そのために奄美市で特に重視するのは、「雇用創出・定住促進・子育て支援」などです。限られた予算の中で、とりわけ今後の奄美市に必要な新規事業をどれほどできるか、地域の力が問われています。

国の機関の予測では、2060年の奄美大島全体の人口は、今の半分の3万2千人だそうです。これを何とか今の8割に維持するために、不妊治療医療費への助成・待機児童解消・シニア世代の島外からの呼び込みや市民一人当たり所得の向上につながる取り組みを行い、生活しやすい奄美市をつくっていきたいと考えています。

3 名瀬本庁舎建設に伴い、公民館が紬会館に移転します！

本庁舎の建て替えが、4月から目に見えて動いていきます。まず4月以降に市役所横の公民館が解体され、その跡地に仮駐車場が整備されます。その後、現在の立体駐車場や別館等が解体され、来年度中に本庁舎建設工事が発注されて、平成30年度中に完成予定。31年初旬までに新庁舎での業務が開始される予定です。

また、基本設計完了時における概算工事費は約59億7千万円で、今後の実施設計により正確な費用が示されます。合併特例債を活用し、40億円余りは国からの交付税で対応し、償還利子を含む残りの約24億円は積み立て中の庁舎整備基金で対応することにより、過度な財政負担とならないようにしています。

なお、公民館の代替施設として紬会館の7階を活用することになり、音楽系の講座や教室が開催できなくなります。将来の「生涯学習センター」建設計画については、予定地の見通しが立たないため、検討協議中です。

3. 名瀬本庁舎建て替え

解体が決まっている名瀬公民館。地元紙の新年号にも特集されていましたが、昭和40年の完成から半世紀にわたって地域に親しまれてきました。300名以上収容できるホールが使えなくなるのは市民の文化活動に痛手となり、再建が望まれます。

コラム

市民の皆様のお役に立つ、力強い議会をつくるには

「一人ひとりの声を政治・行政に届けます」「市民目線・市民感覚を大事にします」「皆様に寄り添う政治を行います」。昨年10月の市議選において、選挙カーが街中を賑わしましたが、ではその後、各候補者が皆様にした「宣言や約束」を守るために、日頃どのような活動を行っているのでしょうか。マスコミがそれを報道することはなかなかありませんので、議員一人ずつに尋ねていくしかありません。

奄美市議会、そして各議員は、今回の選挙で投票率が7％、投票者数が約3400減少したことを重く受け止めなくてはなりません。議会に対する期待や信頼が大きく失われているのではないか、という危機感に立たなければ、議会の思い切った改善・改革は難しいだろうと考えています。

私が思うに「市民の皆様のお役に立つ」とは、常に市民のそばで顔の見える活動を行い、市民の素朴な意見・疑問・不安に耳を傾け、気軽に相談して頂いて、市民と政治・行政とのパイプ役としての務めを果たすことであり、また「力強い議会」とは、行政の追認機関に堕するのではなく、市民のために行政に対しても意見を通すことができる議会と考えます。いかにして、理想とするこの姿に近づいていくか。そのためには、議会・議員が絶えず自らの仕事のあり方や時代に合った議会の役割を見直し、改善・改良を図っていくことの積み重ねが大事と考えております。

幸いにも、議会内においてその機運が高まりつつあることもたしかです。議会基本条例見直しの中で、議員定数・議員報酬がテーマに挙げられており、議会報告会や議員間の自由討議についても改善が図られようとしています。議員24名が全員一致で決めて進めていかなければなりませんので、各テーマについて早期に見直すものからある程度時間をかけて検討するものまで、進捗に差は出るでしょうが、大事なのはこの4年間でしっかりと改善・改良を実行していくことと考えます。

私自身もこの機運がしぼまないように気を配りながら、インターネットによる一般質問の録画放送の実現など、積み残しの課題にも光を当て、市民の皆様に期待や信頼をもって頂ける議会に近付ける取り組みを行って参ります。

▲1月6日に開催された「奄美市中学生ひかり議会」の一コマ

安田そうへい プロフィール

- ●昭和54（1979）年生まれ、36歳。
- ●奄美小、名瀬中、鶴丸高、東京大法学部卒業。
- ●東京・新橋でのサラリーマン生活を経て、公益財団法人松下政経塾に進み、「新しい政治のあり方」を追究する。
- ●平成20年に名瀬に帰り、NPO法人にて青少年支援活動や環境保全・リサイクル活動を通した島おこしに取り組む。
- ●平成23年奄美市議会議員選挙に挑戦、現在2期目。
- ●家族は妻と長男3歳。

※安田そうへい連絡先：
奄美市名瀬古田町5－7
電話：54-7621／FAX：54-7620
Eメール：sohei@mskj.or.jp